

ヒグマ

ヒグマは知床国立公園のシンボルで、日本で最大の陸生哺乳類です。アイヌ先住民族はこのヒグマをキムンカムイ（「山の神」）と呼びました。

数百頭のヒグマが公園に生息し、世界中で最もヒグマの密度が高い地区の一つとなっております。

十分に成長した大人の雄の体重は 250～450 キロで、雌は 100～200 キロです。その大きさにもかかわらず、ヒグマは主に植物、木の実、キノコを常食とし、時折子持ちのサケを食べます。

クマは野生動物で大変危険なこともあります。餌を与えたり、立ち止まって写真を撮ったりしないでください。直面すると人の負傷やクマが死に至ることがあります。